

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和7年9月末の予算現額は、前年度からの繰越額を含めると923億9,633万円となっており、その後、令和7年流山市議会第4回定例会補正予算により、保育施設への運営費や障害福祉サービス等への給付費、人事院勧告に基づく人件費を追加した。

また、令和8年1月の専決処分により、国の物価高騰に係る交付金を活用して実施する子ども1人につき2万円を支給するための経費や、市民におこめ券を配布するための経費、水道の基本料金を免除するための経費、加えて、衆議院議員解散総選挙に係る経費を追加した。

さらに、令和8年流山市議会第1回定例会補正予算に係る内容としては、国の令和7年度補正予算第1号を活用した小学校の校舎改修など、主に教育環境の整備に係る経費などをそれぞれ追加したことなどにより、令和8年3月末の予算現額は、1,007億9,204万6千円となっている。

なお、一般会計と特別会計の令和8年3月末現在の執行状況は、
(3) 収入及び支出の概況のとおりである。

(2) 市長の財政方針

本市財政については、歳入の基幹である市税収入は、納税義務者や新築家屋の増加により、緩やかながら堅調に推移している。

歳出では、人口増加を背景に、子育て・福祉などの市民サービスを維持・充実するための扶助費をはじめとする経常的経費が増加し続けている。

また、物価高騰による影響も見込まれるほか、江戸川台駅東口周辺地区再整備事業などの大規模事業に伴い、引き続き投資的経費の大きな支出が見込まれることから、厳しい財政状況の中にあることを勘案し、前年度の実績や必要性を十分に精査し、多様な市民ニーズを的確に把握し、事業の内容及び優先順位を見直しの上、歳出削減を行い、若年人口の減少に伴い職員採用に限界があるため、デジタル技術やAI等の積極的な活用により業務の効率化と市民の利便性の向上を図るほか、補助金などの財源を最大限確保するなど限られた財源を効率的かつ効果的に活用し、健全財政維持に努め、全職員が合理的かつ効率的な事務執行を心掛けていく。